

補 正

令和 7 年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
C-1	<p>【目標】 教育の現場となる学校施設のバリアフリー化を行うことにより、耐災害性の強化及び教育環境の改善を図る。</p> <p>【定量的指標】 ①県立学校の大規模改造事業（質的整備）（1校） ②教育環境改善率 対象事業箇所の生徒数／県立学校生徒数 （455人／44,212人）</p>	R7	-	[R7補正] C-4のNo. 1	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・5-(2)-エ-③ 安心して学べる教育環境の整備</p>
E1-1	<p>【目標】 農業生産額・農家所得の向上、地域が有する多面的機能の維持・発揮や定住の促進、環境に配慮した持続可能な農業の推進を目標とする。</p> <p>【定量的指標】 生活環境基盤の強化（集落排水処理人口の向上）： （R6）約 3,200人 （R8）約 5,400人</p>	R8	R6	<p>[R7] E1のNo.54～62, 66～67</p> <p>[R7補正] E1のNo. 1～No. 4</p>	<p>【参照計画等】 農山漁村地域整備計画（きめ細やかな農業農村整備プロジェクト）（令和4年度～令和8年度）において策定した目標に準ずる。</p> <p>【事前評価等】 https://www.pref.okinawa.lg.jp/s_higoto/nogyo/1010541/1024877/index.html</p> <p>○B／C 津堅第1地区…1.16</p>
E1-2	<p>【目標】 定期フェリーの就航率向上を図るため、フェリーバースの整備を行う。 （伊是名地区）</p> <p>【定量的指標】 平成31年度 ・岸壁の整備 L=90m ・航路および泊地の浚渫 A=146,304㎡</p> <p>令和7年度 ・岸壁の整備 L=90m ・航路・泊地の浚渫 A=85,406㎡</p>	R8	R1	<p>[R7] E1のNo. 74</p> <p>[R7補正] E1のNo. 5</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・3-(7)-カ 成長産業化の土台となる農林水産業の基盤整備</p> <p>【事前評価等】 https://www.pref.okinawa.lg.jp/s_higoto/nogyo/1010541/1024877/index.html</p> <p>○B／C 伊是名地区…1.04</p>
G-1	<p>【目標】 生活に密着した陸上交通基盤の整備 体系的な道路ネットワークの構築</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(R4) 1.4% 中間目標値(R8) 22.1% 最終目標値(R13) 100%</p> <p>【目標値】 現況値(R4) : 実績整備延長/計画整備延長 = 200m / 14,000m =1.4% 中間目標値(R8) : 中間整備延長/計画整備延長 = 3,100m / 14,000m =22.1% 最終目標値(R13) : 最終整備延長/計画整備延長 = 14,000m / 14,000m =100.0%</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo.1～15, 17, 24 ～26, 116</p> <p>[R7補正] GのNo. 1, 2, 5</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(7)-イ 快適な生活環境の形成 ・3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備 ※道路街路課（道路事業）</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyokagaiyou.html</p> <p>○B／C ・宜野湾南風原線 1.8 ・国道331号（塩屋工区） 1.5 ・伊計平良川線（宮城島工区） 1.8</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>
G-2	<p>【目標】 地域特性に応じた島内移動手段の確保</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値(R4) 10.3% 中間目標値(R8) 48.7% 最終目標値(R13) 100%</p> <p>【目標値】 現況値(R4) : 実績整備延長/計画整備延長 = 400m / 3,900m =10.3% 中間目標値(R8) : 中間整備延長/計画整備延長 = 1,900m / 3,900m =48.7% 最終目標値(R13) : 最終整備延長/計画整備延長 = 3,900m / 3,900m =100.0%</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 16, 18～ 23, 116</p> <p>[R7補正] GのNo. 3, 4</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築 ※道路街路課（道路事業）</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyokagaiyou.html</p> <p>○B／C ・城辺下地線 1.68</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なるため、事業全体で期間を設けて評価を行う。</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-3	<p>【目標】 安全で快適な生活環境の創出（歩いて暮らせる環境づくりの推進： 街路整備事業）</p> <p>【定量的指標】 道路を整備し、開通延長整備率を算出する。 現況値 (R6) 12.0% 最終目標値 (R13) 100%</p> <p>【目標値】 現況値 (R6) : 実績整備延長/計画整備延長 = 1,432m / 11,918m = 12.0% 中間目標値 (R8) : 中間整備延長/計画整備延長 = 3,651m / 11,918m = 31% 最終目標値 (R13) : 目標整備延長/計画整備延長 = 11,918m / 11,918m =100%</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 27～50, 124 ～129, 158～ 160, 171, 202, 213～ 214, 223～225, 233 ～234, 244～ 246, 304～305, 323</p> <p>[R7補正] GのNo. 6～9, 34, 39</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計 画 ・1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推 進 ・2-(8)-エ 離島を結び支える安全・安定的で シームレスな交通体系の構築</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/ doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyoukagaiyou.html</p> <p>○B/C ・伊差川線（伊差川工区） 1.02</p> <p>・達成予定時期 対応事業ごとに達成予定年度が異なる ため、事業全体で期間を設けて評 価を行う。</p>
G-4	<p>【目標】 ①景観資源の保全・再生・利用（無電柱化の推進） ②安全で快適な生活環境の創出（安全でゆとりある道路空間の創 出） ③輸送手段及び避難地等の確保（緊急物資輸送機能の確保）</p> <p>【定量的指標】 令和13年度までに無電柱化4kmを推進</p> <p>【目標値】 ・現況値：0km (R4 目標設定時) ・中間目標値 (R8) :2km ・最終目標値 (R13) :4km</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 61～65, 118</p> <p>[R7補正] GのNo. 10</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計 画 ・1-(5)-イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年 悠久のまちづくり ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くしなや かな県土づくりの推進</p>
G-5	<p>【目標】 社会基盤等の長寿命化対策 (道路橋梁における補修・耐震化対策の推進)</p> <p>【定量的指標】 令和13年度までに道路橋の補修・耐震補強50箇所実施</p> <p>【目標値】 ・現況値：0箇所 (R4 目標設定時) ・中間目標値 (R8) :25箇所 ・最終目標値 (R13) :50箇所</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 66～71, 118</p> <p>[R7補正] GのNo. 11</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計 画 ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くしなや かな県土づくりの推進</p>
G-6	<p>【目標】 緊急時における輸送機能及び避難地等の確保 (緊急輸送機能を持つ施設の整備)</p> <p>【定量的指標】 令和13年度までに道路法面等の定期点検・対策10箇所実施</p> <p>【目標値】 ・現況値：0箇所 (R4 目標設定時) ・中間目標値 (R8) :5箇所 ・最終目標値 (R13) :10箇所</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 72～ 78, 118, 119</p> <p>[R7補正] GのNo. 12～17</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計 画 ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くしなや かな県土づくりの推進</p>
G-7	<p>【目標】 公共交通ネットワークの形成と沖縄振興の新たな魅力の創出を図る 社会基盤としての道路、都市モノレールの機能強化を推進し、沿線地 域の活性化や景観を考慮した観光拠点へのアクセス、ホテル等の宿泊 施設への円滑な交通の確保を図り、産業・経済活動を支援する。</p> <p>【定量的指標】 モノレールによる移動を推進し、沿線道路の円滑な交通確保を達成 するため、モノレール乗客数の増加を図る。</p> <p>【目標値】 (モノレール利用客数) ・現況値 (R4. 12) 44,427人/日 ・中間目標値 (R5) 50,600人/日 ・最終目標値 (R9) 69,000人/日</p>	R9	R5	<p>[R7] GのNo. 8, 24, 25, 26, 29, 32, 33, 35, 37, 38, 43, 44 ・51, 79, 121, 124, 12 7, 148, 171, 174, 175 ・176, 183, 184, 185, 308, 310</p> <p>[R7補正] GのNo. 18</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計 画 ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くしなや かな県土づくりの推進 ・3-(12)-エ シームレスな交通体系の整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/ doboku/kikaku/kikaku/20131004jiz enhyoukagaiyou.html</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-8	<p>【目標】 安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出を図るため、港湾機能の強化・拡充を行う。</p> <p>【定量的指標】 本島内の港湾における船舶等の安全性や快適性の確保、保管能力を向上させるための港湾施設の整備達成率を、0%から14%へ向上させる。</p> <p>【目標値】 現況値（R5）：0% 中間目標値（R6）：0% 最終目標値（R8）：14%</p> <p>現況値（R5）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 0件 / 7件 ＝ 0 %</p> <p>中間目標値（R6）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 0件 / 7件 ＝ 0 %</p> <p>最終目標値（R8）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 1件 / 7件 ＝ 14 %</p>	R8	R6	<p>[R7] Gの No. 80, 81, 85, 86, 120</p> <p>[R7補正] GのNo. 19, 21, 22</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・3-(12)-ウ-② 中城湾港の物流・人流機能の強化 ・3-(12)-ウ-③ 圏域の拠点港湾等の機能強化</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>【費用便益】 ・中城湾港（泡瀬地区）港湾改修事業：2.4</p> <p>達成予定年度は、以下を基準にして設定しております。 ・全ての事業が完了する年度ではなく、一定期間（5年間）を定めて目標を設定</p>
G-9	<p>【目標】 安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出を図るため、港湾機能の強化・拡充を行う。</p> <p>【定量的指標】 離島港湾における船舶等の安全性や快適性の確保、保管能力を向上させるための港湾施設の整備達成率を、16%から50%へ向上させる。</p> <p>【目標値】 現況値（R5）：16% 中間目標値（R6）：33% 最終目標値（R8）：50%</p> <p>現況値（R5）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 1件 / 6件 ＝ 16 %</p> <p>中間目標値（R6）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 2件 / 6件 ＝ 33 %</p> <p>最終目標値（R8）：整備した施設数／整備を必要とする施設数×100 ＝ 3件 / 6件 ＝ 50 %</p>	R8	R6	<p>[R7] GのNo. 82～84</p> <p>[R7補正] GのNo. 20</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(8)-エ-② 離島港湾の機能強化及び安全で安定した海上交通の確保・維持</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/20131004jizenhyoukagaiyou.html</p> <p>【費用便益】 ・粟国港港湾改修事業：1.2 ・祖納港港湾改修事業：1.01</p> <p>達成予定年度は、以下を基準にして設定しております。 ・全ての事業が完了する年度ではなく、一定期間（5年間）を定めて目標を設定</p>
G-10	<p>【目標】 治水対策について、浸水被害の軽減を図るための河川改修を推進するとともに、自然石等を用いた河川護岸の整備や景観・環境に配慮した多自然川づくりにより、河川の水辺環境の保全・再生に取り組む。</p> <p>【定量的指標】 平成24年度以降、県管理河川（二級河川）の整備を要する延長に対する自然環境に配慮した河川整備を行った割合</p> <p>整備河川における整備率 現況値（R2）：11.1% 中間目標値（R8）：15.8% 最終目標値（R13）：19.7%</p>	R13	R8	<p>[R7] GのNo. 87, 91～93</p> <p>[R7補正] GのNo. 23～27</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くなやかな県土づくりの推進</p>
G-11	<p>【目標】 沖縄県は台風の常襲地帯であり、海岸は高潮、波浪等による被害を度々受けている。海岸保全施設の整備は進んでいるものの、未だに高潮、越波による災害が発生しており整備を推進する必要がある。一方、優れた自然景観を有する本県の海岸は、観光立県沖縄の貴重な観光資源となっている。このため、防護が必要な海岸において所要の安全を確保するとともに、環境や利用にも配慮し、防護・環境・利用が調和した総合的な海岸整備を推進する。</p> <p>【定量的指標】 高潮・波浪、老朽化及び侵食に対する安全・安心の確保のため、想定浸水面積を19.3ha（R2）から0ha（R8）に減少させる。</p> <p>【目標値】 現況値（R2）：19.3ha 中間目標値（R5）：9.7ha 最終目標値（R8）：0ha</p>	R8	R5	<p>[R7] Gの No. 98, 99, 100, 101</p> <p>[R7補正] GのNo. 28, 29, 30</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(4)-イ 大規模災害等に備えた強くなやかな県土づくりの推進</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-12	<p>【目標】 下水を速やかに排除・処理することにより、生活環境の改善、浸水の防除、海や河川等の公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、豊かな自然環境の保全・再生に大きく寄与する。</p> <p>【定量的指標】 幹線整備や関連市町村の面整備、それらに伴う汚水増に対応した処理施設等の増設を推進し、下水道処理人口を増加させる。</p> <p>【目標値】 現況値(R5) : 72.2% 中間目標値(R9) : 78.04% 最終目標値(R11) : 78.92% ※下水道処理人口普及率(%) = 下水道によって供用開始している処理区域の定住人口(人) / 住民基本台帳に記載された人員(人) × 100</p>	R11	R9	<p>[R7] GのNo. 102～110, 130, 149, 153, 157, 164～166, 170, 177, 193～195, 201, 208～210, 212, 218, 222, 230, 232, 238～240, 243, 254～256, 260, 267～268, 270, 278～280, 287～289, 292, 294, 298～299, 301, 303, 311, 314, 318, 322, 326, 329, 331, ～332, 334～336, 345～347, 355～356</p> <p>[R7補正] GのNo. 31, 33, 38, 42</p>	<p>【参照計画等】 社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」及び「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備(重点計画)」、「沖縄地域の防災・暮らしの安心に資する下水道整備(防災・安全)」及び「沖縄地域の防災・暮らしの安心に資する下水道整備(防災・安全)(重点計画)」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。 ○沖縄汚水再生ちゅう水プラン2023(沖縄県下水道等整備構想) R5.3版 ○新・沖縄21世紀ビジョン実施計画 ・2-(7)-ア 計画的な生活基盤の整備</p> <p>【事前評価等】 http://www.pref.okinawa.jp/site/doboku/kikaku/kikaku/koukyoujigyousaihyouka.html ○B/C ・中部流域下水道事業(那覇処理区) 2.53 (H30) ・中部流域下水道事業(伊佐浜処理区) 2.15 (H30) ・中城湾流域下水道事業(具志川処理区) 1.29 (H30) ・中城湾南部流域下水道事業(西原処理区) 1.29 (H27)</p>
G-13	<p>【目標】 都市公園整備事業の推進を図ることにより、良好な地域環境の形成、自然環境の保全、災害時における緊急避難地の確保等、快適で安全で安心した都市環境を提供するとともに、公園利用者の利用利便性の向上を目指す。</p> <p>【定量的指標】 那覇市における一人当たり公園面積を6.05㎡/人(R5年度末)から6.63㎡/人(R11年度末)に増加する。</p> <p>【目標値】 現況→6.05㎡/人(R5年度末) 中間→6.43㎡/人(R9年度末) 最終→6.63㎡/人(R11年度末)</p>	R11	R9	<p>[R7] GのNo. 131～137</p> <p>[R7補正] GのNo. 32</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進</p> <p>社会資本総合整備計画の「那覇市都市公園整備推進計画(防災・安全)」に位置付け、社会資本整備総合交付金と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本総合整備交付金チェックシート</p>
G-14	<p>【目標】 公共施設の整備改善と良好な宅地の供給</p> <p>【定量的指標】 土地区画整理事業により整備された宅地面積</p> <p>【目標値】 現況値(R3) 2,086ha 中間目標値(R9) 2,146ha 最終目標値(R13) 2,186ha</p>	R13	R9	<p>[R7] GのNo. 152, 174, 175, 176, 206, 216, 217, 251, 310, 325</p> <p>[R7補正] GのNo. 35, 36, 37</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進</p>
G-15	<p>【目標】 地域住民の生活に密着した市町村道の整備を推進し、安全で円滑な交通の確保、生活環境の向上を図る。</p> <p>【定量的指標】 安全で円滑な交通の確保及び生活環境のための市町村道の整備延長</p> <p>【目標値】 現況値(R6末) : 0.9km 中間目標値(R6) : 1.6km 最終目標値(R8) : 1.7km</p>	R8	R6	<p>[R7] GのNo. 263, No. 352</p> <p>[R7補正] GのNo. 40, No. 45</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(7)-イ-② 生活に密着した陸上交通基盤の整備</p>

番号	成果目標	達成予定 年度	中間評価 年度	対応事業	参照情報
G-16	<p>【目標】 読谷村泊城公園で豪雨等によって崖崩れが発生した崖地（高さ最大18m、延長91m）を適切な崖面対策を行い、安全・安心な公園施設の管理に努める。</p> <p>【定量的指標】 崖崩れの影響で園路の閉鎖を余儀なくされ、公園利用が一部閉鎖、分断されていたが本事業を整備することで全面開放を行う。</p> <p>【目標値】 現在：園路封鎖（約100m）⇒令和8年度末（全面開放）</p>	R8	-	<p>[R7] GのNo. 290</p> <p>[R7補正] GのNo. 41</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(7)-イ 快適な生活環境の形成</p>
G-17	<p>【目標】 与那原町の一人当たり公園面積を増やすとともに、与那原公園区域の拡大整備のみならず既存公園区域の改修も踏まえ、公園施設の機能の維持向上に努め、地域住民の地域活性化拠点としての機能強化を目指す。</p> <p>【定量的指標】 一人当たり公園面積を4.98㎡（H30年度末）から5.79㎡（R9年度末）に増加する。</p> <p>【目標値】 一人当たり都市公園面積＝ 都市公園の供用開始面積の合計/都市計画区域人口</p> <p>当初現況値（H30年度末）4.98㎡/人 ⇒中間目標値（R6年度末）4.98㎡/人 ⇒最終目標値（R9年度末）5.79㎡/人</p>	R9	R6	<p>[R7] GのNo. 319</p> <p>[R7補正] GのNo. 43</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(7)-イ 快適な生活環境の形成</p> <p>既存の公園面積＝91,700㎡ 人口＝18,410人（H27国勢調査人口）</p> <p>一人当たりの都市公園面積＝既存の都市公園面積（91,700㎡）÷拡張する公園の面積（15,000㎡）/人口（18,410人） ＝5.79㎡/人となる。</p> <p>与那原町緑の基本計画（一部見直し）平成30年12月より。</p>
G-18	<p>【目標】 南風原町における一人当たり公園面積は、6.5㎡/人（令和2年度末）と全国平均10.7㎡/人（令和元年度末）を大きく下回っていることから、町内の都市公園及び都市緑地の整備を推進することにより、花と緑が彩り潤いのあるまちづくりを目指す。</p> <p>【定量的指標】 都市公園面積6.5㎡/人（令和2年度末）を7.1㎡/人（令和7年度末）に増加させる。</p> <p>南風原町一人当たり都市公園面積＝ 都市公園の開設面積の合計/都市計画区域人口</p> <p>【目標値】 当初現況値（R2年度末） 6.5㎡/人 ⇒中間目標値（R5年度末） 6.8㎡/人 ⇒最終目標値（R7年度末） 7.1㎡/人</p>	R7	R5	<p>[R7] GのNo. 327</p> <p>[R7補正] GのNo. 44</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・1-(1)-ウ 人と環境に優しいまちづくりの推進</p> <p>社会資本整備計画の「南風原町都市公園整備計画」に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。</p> <p>【事前評価等】 ○社会資本整備総合交付金チェックシート</p>
G-19	<p>【目標】 今後の水需要に適切に対応するとともに、水質の安全性を確保するための水道施設等の整備を推進する。また、離島県である本県において水道施設が被災した場合、水道事業者相互や他府県からの支援等が困難であり、広範囲かつ長期にわたっての断水が危惧されることから、耐震化を推進する。 水源水質の悪化や制限給水、水道料金の高騰など、沖縄本島との地域間格差が大きい本島周辺離島8村の課題解消を図るため、県において、離島における水道施設の整備を行う。これにより、水道サービスの向上を図り、離島の生活環境の整備に寄与する。</p> <p>【定量的指標】 ①令和13年度を達成予定年度として、基幹管路耐震化率50.5%、基幹管路整備進捗率57%を目指す。 ※基準値（R2）：基幹管路耐震化率 43.6%、 基幹管路整備進捗率 18% 実績値（R5時点）：基幹管路耐震化率 46.5%、 基幹管路整備進捗率 27% 中間目標値（R9）：基幹管路耐震化率 47.1%、 基幹管路整備進捗率 39% 最終目標値（R13）：基幹管路耐震化率 50.5%、 基幹管路整備進捗率 57%</p> <p>②令和13年度を達成予定年度として、本島周辺離島8村での水道広域化による水道施設の整備を行う。 ※基準値（H27）：広域化実施市町村数 0村 実績値（R5時点）：広域化実施市町村数 6村 中間目標値（R9）：広域化実施市町村数 8村 最終目標値（R13）：広域化実施市町村数 8村</p>	R13	R9	<p>[R7] G5-1のNo. 366～370</p> <p>[R7補正] G5-1のNo. 46～49</p>	<p>【参照計画等】 ○新・沖縄21世紀ビジョン基本計画 ・2-(7)-ア 計画的な生活基盤の整備 ・2-(8)-イ 安全・安心な生活を支えるインフラの整備</p>

(注) 1. 欄の不足に際しては、表の加工による欄の増加や別添への参照を適宜行うこと。

2. 事業計画に記載された全ての事業に係る成果目標を設定する(当該年度の事業計画に記載された事業以外の事業と一体となって目標を達成する場合には、他事業との統合効果により目標を達成する旨を記載のこと)。ただし、選択しなかった事業については目標を設定する必要はない。

成果目標については、括り方も数も沖縄県の任意であり、国から別途提示される「評価等が必要と考えられる項目」を参照し、自主的に設定すること。

なお、交付要綱等において別途の評価に係る規定に基づき目標設定が行われているものや、沖縄県自らの別途の評価の仕組みの中で別途成果目標を定めているものについては、参照情報に、それらの仕組みによる目標設定に係る情報が公表されている旨を記載する(重複しての新たな目標設定が求められるものではない)。また、沖縄振興公共投資交付金による事業以外の事業とも連携した効果を期待する場合には、それら他事業とあわせた目標設定も行い得る。

3. 成果目標の達成予定時期には事後評価を行うことが前提とされる。長期(おおむね5年程度以上)にわたる事業では、当該成果目標の達成状況についておおむね3年程度の適当な期間ごとに中間評価を行うよう努めること。

4. 対応事業は、別表に掲げる事業のうちから1つ以上を選択し、記号を記載のこと。

その際、記号ごとに事業計画に掲載されている全ての事業が対象であれば記号のみを記載し(例、「A」)、一部の事業のみを対象とする事業であれば、事業計画に記載されている事業との関連が分かるようにすること(例、事業計画の通し番号を用いる場合には、「D1のNo.1」等)。

5. 「参照情報」には、これまでの制度の中で既に実施した事前評価の結果など、成果目標を設定する上で重要と考えられる情報を適宜記載のこと。